

曾根 麻矢子 チェンバロ *Mayako Sone, Cembalo*

実力、人気ともに日本を代表するチェンバロ奏者。

1986年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞後、故スコット・ロスに指導を受ける。

1991年には、エラート・レーベル初の日本人演奏家としてCDデビュー。以後イスラエル室内オーケストラの専属チェンバロ奏者、現代舞踊家とのコラボレーションなど多彩な活動を開始。国内でもリサイタル、室内楽と積極的に活動し、その活動は常に注目を集めている。とりわけ、2003年～09年に6年間12回にわたるJ.S.バッハ連続演奏会が注目を集めたほか、2010年～14年にも全12回のクーランとラモアのチェンバロ作品の全曲演奏会を行い、好評を博した。録音は「J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲」ほか14枚のソロCDをリリース。

現在、演奏活動の傍ら、鬼オスキップ・センペの元で研鑽を積んでいる。

1996年「第6回出光音楽賞」、1997年飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。

2011年よりスタートした『チェンバロ・フェスティバル in 東京』音楽監督。上野学園大学特任教授。

曾根麻矢子オフィシャルウェブサイト <http://mayakosone.com/>

◆ 曾根 麻矢子 チェンバロ・ワークショップ ◆



クラシック音楽のルーツともいべきバロック音楽。その世界は、ヨーロッパの華やかな王宮文化を今に伝えます。とりわけチェンバロは、その繊細な音色が愛され、当時家具と同じように装飾されたこともあり、貴族の富の象徴ともなった楽器です。

愛好家も多いチェンバロですが、現代において、同じ鍵盤楽器であるピアノと比較すると、コンサートで使われる機会が少ないのが事実。また、「敷居が高い」とお思いの方も多いのではないのでしょうか。

しかし、一度触って、体験すれば、その印象も変わることでしょ！

日本を代表するチェンバリスト曾根麻矢子を講師に、帯広十勝の小学生、中学生、高校生を対象にチェンバロ教室を行います。チェンバロを弾いたことのない方でも大歓迎！チェンバロの構造や奏法などのお話しを交え、興味のある方どなた様でもご参加いただけます。

日時：2017年7月22日（土） 16：00～17：00（開場15：45）

会場：とかちプラザ レインボーホール

参加料：1,000円

聴講料：500円（コンサートチケットをお持ちの方は無料）

対象：小学生・中学生・高校生で鍵盤楽器経験者

定員：3名

受講曲：J.S.バッハの2声のインベンション・3声のシンフォニア・平均律クラヴィーア曲集

1巻・2巻の中から5分以内で選曲してください。

申込：右の申込フォームにアクセスし、必要事項を入力・送信していただくか、とかちプラザ2階事務所まで直接お越しいただき、お申し込みください。



ワークショップ
申込フォーム

1) 楽器の説明

楽器の基本構造や歴史を学んでいただきます。身近な鍵盤楽器であるピアノとの違いや、音の出る仕組みを理解することで、チェンバロの本質に一步近づけます。

2) レッスン

実際に楽器に触って、その特徴を実感していただきます。弦をはじく感触、音を止める感触、などなどチェンバロの弾き方を体験していただきます。

そして、演奏をしていただきます。さらに、同じ曲を曾根が演奏し、感想を話しあいます。

初めて演奏するチェンバロへの新鮮な興味に加え、プロの演奏家による演奏を間近で聴くことで大きな成長へとつながります。

